

# ( 1 1 ) 中筋小学校

## 1. 研究主題

### 「自ら学びとる授業づくり」

～ICT の効果的活用を通して（算数科を中心に）～

## 2. 主題設定の理由

本校は、学習リーダーを中心とする児童の主体的な学び合いを通して個々の力を高めていくことをねらいとした学習スタイル（中筋スタンダード）を継承してきた。昨年度は、これまでの研究の成果を大切にしつつ、クロームブックを中心とする I C T を効果的に活用し、「個別最適な学び」「協働的な学び」を実現させようと研究を進め、主体的・対話的に学び、活用・発揮して深めていく力を高める授業づくりを目指した。しかし、授業において、とも学び（全体共有）の場面で時間がかかり、みんなが納得してまとめへとつなげることができないこと、ICT を効果的に活用したいけれど目的化してしまっていることに課題が残った。また、様々なテストの結果からも、授業で学んだ知識を活用・発揮して問題解決をするのに課題が残った。

そこで今年度は、研究主題を「自ら学びとる授業づくり～I C T の効果的活用を通して（算数科を中心に）～」とし、とも学び（全体共有）の場面においてみんなで納得解が得られる授業づくりを目指すこととした。学びとる授業とは、『①子どもたち自らが目的意識をもってめあて（問い）を設定し、②対話を通して子どもたち自身で意見を出し合い、聴き合うことで、共通点や相違点を見つけ、考えを広げたり深めたりしてまとめにつなげ、納得解を見つけ出し、③客観的に自身の思考や活動をふりかえり、変容を実感し、次へつなげる学び』と教職員で確認し合った。ICT を有効に活用してこの授業を実現させることを目標に授業づくりを進めることにした。

## 3. 研究仮説

- ①「見方・考え方」を働かせつつ、指導過程の中に効果的に ICT を活用（「共有」「協働」「活用」「個別最適」）することで、一人ひとりのよりよい学び（自立的な学び・協働的な学び）が広がり、自ら学びとる力、学んだことを活用・発揮する力が高まっていくだろう。
- ②基本的な生活習慣の確立、命や人権を大切にした学級経営による仲間づくり＜横糸＞、全校活動等を通じた仲間づくり＜縦糸＞、将来を見すえた自学自習の習慣化（予習）等が、学びを支える基盤（生活やマインドなど）づくりにつながっていくだろう。

## 4. 研究の進め方と方法

### （1）研究組織

#### 【学力向上部】

- ・中筋スタンダード
- ・資質・能力ベースの授業改善
- ・ICT の効果的活用
- ・講師招聘による授業改善
- ・チャレンジタイム
- ・各種学力調査の分析と活用
- ・自学自習の習慣化

#### 【生活支援部】

- ・基本的生活習慣の確立
- ・心やかかわりづくりの取組
- ・命や人権を大切にする取組

### （2）研究の方法

- ・毎月 3 回、基本的に水曜日を校内研修の日とする。講師の都合で変更する場合もある。
- ・学力向上部、生活支援部の部会を定期的にもつ。

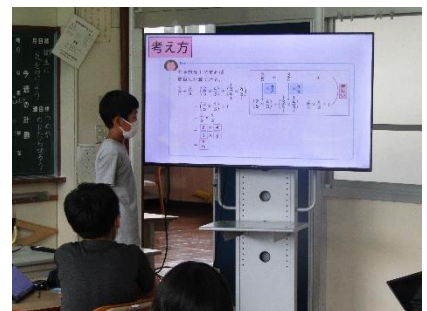
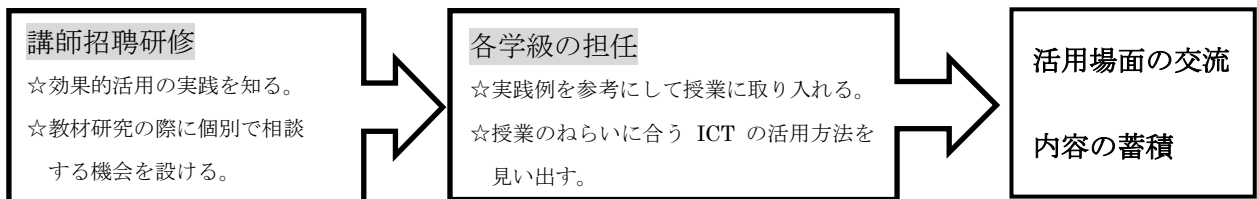
## 5. 具体的な取組

### (1) 授業改善

- ① 新学習指導要領にもとづく資質・能力ベースの授業づくり（算数科）
- ・各学級年2回の研究授業（年10回）を実施する。
  - ・教材研究はブロック研修とし、講師招聘のもと、事後研究を行う。
  - ・教材分析シートを活用する。
  - ・研究授業は視点を明確にして参観・協議し、PDCAサイクルで授業改善に取り組む。
  - ・協議内容や助言をスライドにまとめ確認する。



- ② ICT の活用
- ・講師招聘研修での学びを重ね、ICT の効果的活用を実現させる。
  - ・活用場面の交流を行い、内容を蓄積していく。



- ③ 自学自習の習慣化
- ・自主学習の手引きを作成し、活用する。
  - ・ぐるぐるノートを実施する。  
(横まわり：学級 縦まわり：縦割り班)



- ④ 資質・能力を支える取組
- ・帯タイム（チャレンジタイム）：活用力をつけるための内容に変更（天声こども語の活用等）
  - ・朝の準備：PCに触れる時間の確保
  - ・すきま時間を活用したタイピング練習（高知家まなびばこ、キーボー島アドベンチャー）

## (2) 学びを支える土台づくり

### ① 生活づくり

- ・ 基本的な生活習慣の確立のため生活がんばり調べを行う。(2カ月に1回実施)

### ② 体力づくり

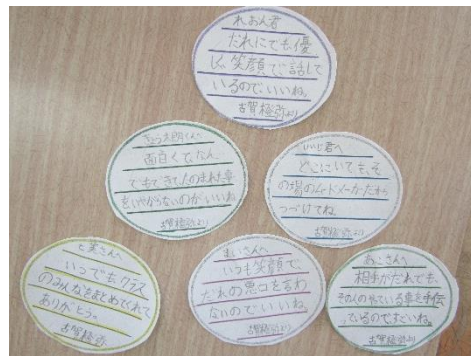
- ・ 朝マラソン(4分間走、雨天時はラジオ体操)、外遊びを奨励し体力をつける。

### ③ かかわりづくり

- ・ 縦割り班活動を中心に行う。(清掃活動、あいさつ運動など)
- ・ エンカウンター朝会を実施し、ふりかえりを共有する。



- ・ 全校あそび(毎週水曜日)を体育委員会が中心となって行う。
- ・ 人権教育主任を中心に各学年ごとにいいところみつけを行い、掲示していく。



※校内支援委員会を月に1回設け、児童の状態を共有し支援方法を検討していく。

## 6. 今年度の成果と課題 (○…授業改善について □…学びを支える土台づくりについて)

### <成果>

- 様々な工夫を授業内に施すことにより、対話が生まれ、児童自身が熱心に取り組む授業が実現できた。
- ICT活用が問題を解決するための手段へと変化してきている。
- 家庭と連携し、児童の生活リズムを整えることや家庭学習の充実を図ることができた。
- 学級や学校の仲間づくりができ、学びを支える土台となった。

### <来年度にむけて>

- 子どもが自ら学びとる授業をさらに追究していく。
- 授業を充実させるだけでなく、その授業が学力定着につながるような流れを作っていく。
- Webアプリなどの使用を広げ、ICT活用をさらに充実させていく。また、学校の学習と家庭学習をつなげる取組を行っていく。
- 相手の身になって考え想像する力を育成し、多様性を認め合える仲間づくりを目指していく。
- 自己肯定感を高める取組をさらに進めていく。